

UNDP 関連プロジェクト紹介

マルチ・ファンクショナル・プラットフォーム

～女性の生活を変える魔法の設備～

マルチファンクショナル・プラットフォームとは、簡単な発電・発動装置を備えた作業機械のことです。マリ、ブルキナ・ファソ、ガーナ、セネガルなどの西アフリカ各国の農村にて導入が進められ、特にマリでは 650 基のプラットフォームが農村生活に取り入れられました。現在では「一村に一台」を目標に、普及拡大が図られています。

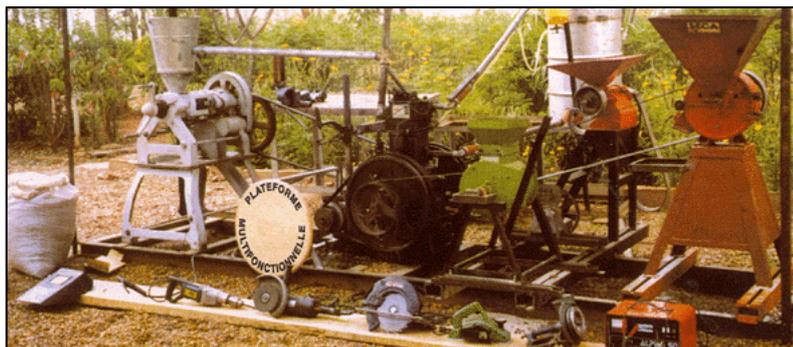
一見原始的に見えるこの機械が、農村の貧困問題の画期的な解決策としてなぜこれほど注目を集めてきたのでしょうか？それは、このプラットフォームが農村女性の生活を大きく変える力を備えているからです。長時間にわたる家事労働なくしては成り立たないアフリカの農村生活で、家事を担う女性の労働時間は一日 14 時間。水汲みに費やす時間は年間250時間です。水を汲むために、毎日5kmも歩き、薪を集め、食糧を調達して料理をします。農作業もします。子どもの世話や老人や病人の介護も女性の仕事です。気候変動の影響で、水や薪を求めてさらに遠くまで行かなければならない、HIV／エイズの蔓延で、エイズ患者や孤児の面倒を見なければならぬなど、女性の労働時間はさらに増えつづけています。女性はまさに、気候変動、HIV／エイズ、貧困に対応する「セーフティ・ネット」なのです。そこで、女の子も労働力としてかりだされ、教育の機会を奪われ、健康も損なっていきます。こうして、不平等と貧困は次世代に引き継がれていくだけではなく、MDGsの達成にも暗い影を落としているのです。



マルチ・ファンクショナル・プラットフォームがここまで普及し、ニーズが高まっているのは、このシンプルな設備が女性の労働量と労働時間を大幅に軽減してくれる上に、収入確保の機会まで提供してくれるからです。自分のために使える時間と、自分で稼ぐ収入は、女性のエンパワーメントにつながっていきます。このような実用的な支援で、女性や女兒の生活や人生が劇的に変わり、それによってMDGsの達成が加速されていくのです。

MFP のおもな機能:

- ・ 農作物加工(シアバター、豆、米などの脱穀、製粉/精米、破碎)
- ・ 溶接
- ・ 充電
- ・ 井戸水汲み上げ
- ・ 照明



※MFP の燃料はディーゼルだが、近年の価格高騰により、ジャトロファ(セイヨウアブラギリ)を原料とするバイオ燃料への切替えが検討されている。

運営方法:

MFPは女性グループによって所有・運営されている。MFPは輸送・設置を含め一台約1,400ドル。MFPの購入資金のうち、20-25%は小規模融資(マイクロクレジット)等の利用を通じて女性たちが出資する。MFPを共同所有する女性は、自分たちが利用するだけでなく、MFPの貸出しをビジネスにすることで、現金収入を得られるようになる。

MFPはどのように役立っているか? :

MDG1: 極度の貧困と飢餓の撲滅

農作物の加工効率が向上し、時間の有効活用が可能となり、女性の収入源が多様化するとともに、所得も向上した。食物が不足する地域では収入向上によって外部からの食料調達が可能となった。

MDG2: 普遍的初等教育の達成

児童労働の現象により、出席率が向上した。とくに女子の出席率・成績が向上した。収入向上により、学費の支払いが可能となった。



MDG3:ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上

女子への労働負荷の軽減により、就学率・成績が向上した。MFP の所有・運営を通じて女性の地位が向上した。また労働時間の短縮により十分な休息をとることができるようになり、学習に必要な肉体的・精神的回復を図れるようになった。

MDG5:妊産婦の健康改善

所得向上により医療サービスを利用できるようになった。また労働時間の短縮によって十分な休息を取り、健康状態が改善された。

例:

・シアバター生産量および収入の向上

導入前:182kg、23800 CFA

導入後:540kg、70875CFA

・女子就学率

導入前は約半数の女兒が欠席していたが、導入後初年は出席率が125%増加。

